

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会等に関する閣僚会議（第3回） 議事録

日 時：平成27年1月27日（火） 10：00～10：10

場 所：官邸4階大会議室

出席者：安倍内閣総理大臣、麻生副総理・財務大臣・内閣府特命担当大臣、高市総務大臣、上川法務大臣、岸田外務大臣、下村文部科学大臣・東京オリンピック・パラリンピック担当大臣、塩崎厚生労働大臣、西川農林水産大臣、宮沢経済産業大臣・内閣府特命担当大臣、太田国土交通大臣、望月環境大臣・内閣府特命担当大臣、中谷防衛大臣、竹下復興大臣、山谷国家公安委員会委員長・内閣府特命担当大臣、山口内閣府特命担当大臣、甘利内閣府特命担当大臣、有村内閣府特命担当大臣、石破内閣府特命担当大臣、加藤内閣官房副長官、世耕内閣官房副長官、杉田内閣官房副長官、木村内閣総理大臣補佐官、磯崎内閣総理大臣補佐官、衛藤内閣総理大臣補佐官、長谷川内閣総理大臣補佐官

【下村東京オリンピック・パラリンピック担当大臣】

ただ今から、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会等に関する閣僚会議の第3回会合を開催いたします。本日は御多忙の中ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。今後、私の方で進行を務めさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

まず、会議の開催に当たり、安倍内閣総理大臣から御挨拶をいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

【安倍総理挨拶】

東京大会の開催まで残り5年となりました。本年も「オールジャパン」で、しっかりと準備を進めていく必要があります。

2020年の東京大会は、最高の環境を整え、アスリートがベストの競技ができる、そして、日本全体の祭典として、我が国が活力を取り戻す弾みとなる、特に、東日本大震災の被災地については、「復興五輪」として、大会が復興の後押しとなり、見事に復興を成し遂げた姿を世界に向けて発信する、さらに、地方に根付き、美しい日本を形作っている日本各地の伝統や文化、個性を輝かせるこのような大会としてきたいと思えます。

先日、「リアル」という車いすバスケットを描き、人気を博しているマンガがございますが、私もそのマンガを薦められて、読んだところではありますが、スポーツとして描いたこの車いすバスケットの状況に圧倒されたのであります。

パラリンピックをめぐる環境も大きく変わりつつあります。パラリンピックの開催を通じ、様々

な障害への理解を深め、我が国が障害者の方々にとってバリアの無い、世界で最もいきいきと生活できる国としていきたいと思いをします。

ラグビーワールドカップ2019についても、速やかに、そして着実に準備を進める必要があります。

通常国会には、特別措置法案を提出し、成立を図り、国の支援体制を強化してまいります。閣僚の皆さまにおかれては、本日説明のある開催基本計画も踏まえつつ、大会成功に向けて一層積極的な取組をお願いいたします。

[報道関係者退室]

【下村東京オリンピック・パラリンピック担当大臣】

それでは、議事に入ります。

一つ目は「大会組織委員会の「大会開催基本計画（案）」について」、二つ目は「「大会開催基本計画の推進等円滑な準備に向けて国の対応が期待される事項」の進捗状況について」、三つ目は「ラグビーワールドカップ2019の準備状況について」になります。私の方からまとめて、まずご説明を申し上げます。

(大会開催基本計画（案）について)

まず、「大会組織委員会の大会開催基本計画（案）について」、資料1をご覧になっていただきたいと思いをします。

大会開催基本計画は、組織委員会が作成する大会準備の基本的枠組みの計画であり、今月23日の理事会に諮られ、概要が公表されたところです。計画は、2月までに組織委員会がIOC・IPCに提出する予定であります。計画全体は7章構成になっており、その主な部分についてご説明申し上げます。

第1章は「全員が自己ベスト」、「多様性と調和」、「未来への継承」の3つを基本コンセプトとする大会ビジョンが掲げられ、また、パラリンピックムーブメントの発展や共生社会の実現についても明記されています。

第4章については大会を支える各種機能として、主要目標、主要業務、役割について記載されております。「輸送」、「セキュリティ」、「出入国」、「文化」、など政府の役割が期待される事項も多く盛り込まれることとなり、各府省庁での取組を加速していく必要があります。

第6章には大会のレガシーを残すためのアクションを具体化する5本の柱として、「スポーツ・健

康」、「街づくり・サステナビリティ」、「文化・教育」、「経済・テクノロジー」、「復興・オールジャパン・世界への発信」が提示されています。国としても検討に積極的に関わっていく予定であります。

(国の対応が期待される事項について)

「大会開催基本計画」におきましては、大会運営に必要な機能として、各府省庁の取組や対応が求められる事項が特に第4章を中心に多く盛り込まれております。

これらの事項に係る取組については、昨年4月以降、本閣僚会議において「国の対応が期待される事項」として私から提示し、各府省庁において検討を深めてきたところです。昨年9月の閣僚会議以降のこれらの進捗について資料2をご覧になっていただきたいと思います。

まず第1番目の「セキュリティ・安全安心」については、セキュリティ幹事会などの政府の検討体制が設置されたところであり、テロ対策に万全を期してまいります。

次の2ページの「2. 復興・地域活性化」については、復興の世界への発信や、ホストシティ・タウン構想、事前キャンプ地の募集を推進しております。

この下にあります「3. 輸送」については、首都圏空港の機能強化策、観客・関係者を円滑に輸送するためオリンピック・レーンの具体化に向けた詳細設計などを進めております。

次の3ページの「4. 外国人旅行者の受入」については、多言語対応の強化や無料WIFIの整備などを進めております。

次の4ページの「5. バリアフリー」については、大会に向けたガイドラインの策定などの検討を進めております。

この下の「6. スポーツ」については、オリンピック・パラリンピック競技の一体的な拠点構築などの検討を進めております。

次の5ページの「7. 文化・環境」については、政府における文化プログラムや、次の6ページの競技の暑さ対策の検討を進めております。

最後にこの下の「8. その他」については、大会推進本部の設置や基本方針の策定等について特別措置法の提出を予定しているところであります。

これまでの取組に係る閣僚の皆様方のご尽力に感謝申し上げるとともに、今後、一層の取組をお願いいたします。また、担当大臣である私の方からも、国の対応が必要な事項の進捗状況については、引き続きフォローアップさせていただきます。

(ラグビーワールドカップの準備状況について)

次に、資料3をご覧くださいと思います。現在、2019年のラグビーワールドカップの開催に向けて、開催都市の選定が進められており、今年3月には10から12箇所程度が決定される見込です。

ラグビーワールドカップを成功に導き、我が国の大会開催能力を世界に示すため、閣僚の皆様におかれましては、東京大会との一体的な準備に配慮しつつ、積極的な取組をお願い致します。

東京大会は日本全体の祭典として、我が国が活力を取り戻す弾みとなるものであり、特に、大会開催の効果が全国に波及していくよう、地域活性化の取組をより一層充実することが求められています。

あわせて、東京大会に向けた取組が、大会後も持続し、その後の社会の発展の原動力として、次世代に引き継がれていくことが期待されています。

2月に予定されている大会開催基本計画のIOC・IPCへの提出により、いよいよ大会準備が本格化します。政府としても、計画の提出を受けて、オールジャパンで東京大会に向けて取組を加速していく必要がありますので、閣僚の皆様方の一層のご協力をお願い申し上げます。

それでは、今の説明に対して、御発言を順次お願いいたします。10人の方の事前登録がございますが、時間の関係で、1人10秒以内でお願いします。

① 高市総務大臣

日本中のすべての地域・自治体・住民が様々な形で参画し、波及効果を行き渡らせるローカルアベノミクスの取組とすることが重要です。また、世界最先端の「社会全体のICT化」を推進するため、実行計画を具体化してまいります。

② 塩崎厚生労働大臣

厚生労働省では、前回の閣僚会議以降、外国人の方々が安心して医療サービスを受けることができる医療機関を増やすとともに、検疫体制の強化などを進めてまいりました。今後とも関係省庁と連携して、担当する各種施策を着実に実施してまいります。

③ 西川農林水産大臣

農林水産省としましては、和食の提供、木材の利用促進、花の安定供給など、日本が誇る農林水産物や食文化を活かした取組で貢献してまいります。

④ 宮沢経済産業大臣・内閣府特命担当大臣

経済産業省の担当する施策につきましては、経済成長の観点からも、民間企業による積極的な参画を促しながら、責任を持って実施してまいります。

⑤ 太田国土交通大臣

2020年の訪日外国人2,000万人の目標に向けて、外国人旅行者の受入環境を一層整えてまいりたいと考えておりますので、関係省庁のご協力をよろしくお願いいたします。

⑥ 望月環境大臣・内閣府特命担当大臣

環境省としては、今後、熱中症やヒートアイランド対策、東京湾等の水質改善に係る取組の検討に着手するほか、東京都市圏における低炭素化対策等の定量的効果を試算してまいります。

⑦ 中谷防衛大臣

防衛省・自衛隊としても、ブルーインパルス、音楽隊、セキュリティにおける協力のほか、自衛官アスリートの育成、また特に五輪種目となる女子ラグビーの選手育成にも取り組んでいます。またラグビーワールドカップ2019も支援していきます。

⑧ 竹下復興大臣

オリンピック・パラリンピック東京大会は、東日本大震災からの復興を世界に発信する絶好の機会であると捉えております。聖火リレー等を通じまして復興した町並みを世界の人に見てもらい、東北の底力、日本の底力を感じていただけるチャンスだと思い、引き続き、復興の加速化に全力で取り組んでまいります。

⑨ 山谷国家公安委員会委員長・内閣府特命担当大臣

シリアにおいて邦人拘束事案が発生し、フランスにおいて連続テロ事件が発生するなど、厳しい国際テロ情勢の中、大会の成功にはセキュリティの確保が不可欠であります。関係省庁と連携し、万全な警備に向け諸対策を着実に推進してまいります。また、首都直下地震の発生に備え、今後とも、東京都や関係省庁と連携して、必要な対策を強力に推進してまいります。

⑩ 山口内閣府特命担当大臣

昨年安倍総理からご指示のございました、大会に向けた科学技術の取組につきましては、今、調整中ではありますが、次回の総合科学技術・イノベーション会議でご報告をしたいと思っております。

【下村東京オリンピック・パラリンピック担当大臣】

ありがとうございました。時間を守っていただきましてありがとうございます。御発言はここまでとさせていただきます。

冒頭の総理のご挨拶にもありましたとおり、2月にI O C・I P Cに大会開催基本計画が提出され、これを踏まえつつ準備を加速する必要がありますことから、大会成功に向けて皆様方の一層の取組をお願いいたします。

本日の議事内容については、配布資料を含め内閣官房から公表することを予定しておりますので、ご了承ください。

それでは、本日の会合はこれで閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。